

夢

匡宗蕙

夢とは何ですか。夢とは、虹よりも明るく、海よりも深く、空よりも広い概念です。夢はそよ風のように、混乱して眠くなつた脳を吹き飛ばします。夢はトーチのように、無力な時は無限の暖かさを与えます。夢は蜜のようで、絶望的な時は乾いた喉に潤いを与えます。夢は人生の鍵です。心で体験して実践すれば、自分の人生の扉を開くことができます。夢は単純でも、並外れたものでもかまいません。

私は子供の頃、一生懸命勉強し、将来はいい大学に入学して、いい仕事をするように言われました。まるでこの種の人生だけが価値があるかのように、これだけが完璧な人生であるということでした。しかし、この人生観は狭すぎるのではないのでしょうか。

大学で勉強するために台北に行つてから、私は人生の見通しについての新しい理解を持ち始めました。一番印象に残つたのは、三年

上の先輩で、家族の環境も私よりも複雑でしたが、前向きな性格だったので影響を受けました。「私も彼のように大胆に夢を見ることができたら」と思い、この時に日本留学の種は静かに心に植えられたのです。

大学を卒業する前の年、クラスメートが大学院の試験や公務員試験の準備をしている時、私は毎日コートで過ごしました。天気の良い日にはバスケットボールをし、天気の悪い日には卓球をしました。私は経済的な事情で大学院に行けず就職しなければならなかったため、ふてくされてこのようなことをしました。今考えると本当に幼稚です。

卒業後、会計士事務所に入社しましたが、当時は基本的な財務諸表の作り方すらわからなかったため、基本から学び始めました。四年目から、人生は少し退屈だと感じ始めたので、会計士の免許を取得することを考えました。この資格があれば、自身で起業することも、より大きな会社で視野を広げることもで

きるからです。それ以来、私は仕事と勉強の  
両立に励みました。それは本当に大変でした。  
仕事と勉強だけの生活で、友達も娯楽も休日  
も全然ありませんでした。

絶え間ない粘り強さは、私が会計士の免許  
を取得するのを助け、大規模な会計士事務所  
に入ることに成功しました。しかし同時に無  
制限の残業を始めることになりました。ある  
日、残業中にきれいな日の出を見た時「これ  
は私が望む人生なのか」と自問しました。

大企業の働き方に気付いた頃、母が病気に  
なり、仕事を辞めて母の世話をするために家  
に帰りました。母の病気は深刻で日本留学の  
夢を諦めようかと考えましたが「明日人生が  
終わるとしたら後悔することはないか」と自  
問した結果、どうしても留学したいという夢  
を追いかけることにしました。

第一に、たくさんのお金が必要です。私の  
経歴では、お金を貯める最も速い方法は海外  
で働くことでしたので、私はマンマで財

務部長の仕事を見つけました。この転職は、全く異なるタイプの仕事で、それは私にとって大きな挑戦であると同時に良い学習の機会でした。役職の関係もあって、いろいろな部署と緊密に連絡を取り合うことで大企業の運営を十分に理解できました。この時、企業経営を学びたいという思いが芽生えました。就労契約満了の前夜、先輩の助けを借りて、日本への留学ビザの申請に成功し、夢を実現することができました。

夢というものは10日で実現することはできませんが10年あれば実現することが出来ます。また夢は、私たちの心を動かし、実現するまで努力を続けるための原動力です。夢の実現までに多くの苦悩や挫折があるかもしれませんが、転んでも起き上がって夢に向かって進むべきです。遅すぎることも、手が届かないこともありません。夢があり、それを追求する勇気と実行への決意がある限り、誰もが夢を実現できるのです。